



2022年6月7日
日本瓦斯株式会社

「デジタルトランスフォーメーション(DX)銘柄 2022」選定

において、「DX グランプリ 2022」に選定されました！

当社は、経済産業省と東京証券取引所が共催する「DX 銘柄 2022」において、デジタル時代を先導する企業として「DX グランプリ 2022」に選定されました。企業価値向上に繋がる DX を構築し、デジタルの活用で優れた実績を残した企業が「DX 銘柄」に選ばれ、その中で特に優れた企業が「DX グランプリ」に選定されます。当社のグランプリは初、本選定は DX 銘柄とその前身である「攻めの IT 経営銘柄」と通算で7年連続となります。



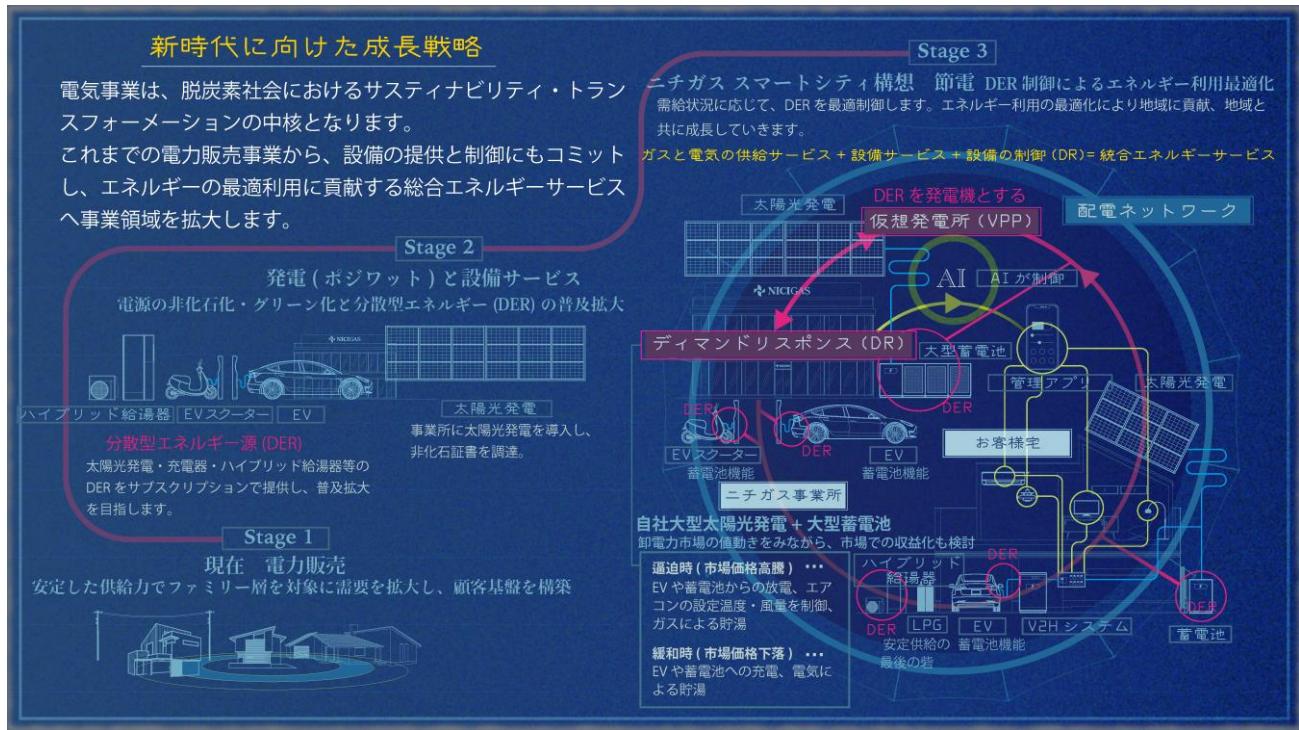
当社は、「DXは生産性向上のみでなく、社会課題の解決と新たな価値創造を通じて企業価値向上を実現する最も重要な取組み」と認識し、DX 等の無形資産への投資を戦略的に増やし、取組みを進めています。本年は、特に下記の3つの点が評価されました。

1) 経営戦略上の DX の位置づけ ～エネルギーソリューションへの進化(NICIGAS 3.0)～

当社はラストワンマイルでガスや電気をお届けし、企業価値を成長させてきました。昨今の革新的なテクノロジーの進化、カーボンニュートラルなどの流れを踏まえ、これからは、DX を軸にエネルギーの最適利用を提案する「エネルギーソリューション」へと事業を進化させます(NICIGAS 3.0)。

まずは、お客さまにガスと電気をセットでお届けし(Stage1)、そして太陽光発電、EV、蓄電池等の分散型エネルギー源(DER)を普及させ、デジタルで発電と電力消費を効率よくバランスさせる「スマートハウス」を実現します(Stage2)。その上で、メタバースの仮想空間上で AI がディープラーニングを続けながらコミュニティ全体のエネルギー利用の最適解を導き出し、実社会の DER の制御に反映させることで最適なエネルギー利用を実現します(「スマートシティ」) (Stage3)。この取組みを通じ、カーボンニュートラルや TCFD 等の社会課題にも対応、企業価値の中長期的な成長に繋げていきます。

【本件に関するお問い合わせ先】 日本瓦斯株式会社 経営企画/IR 部 03-5308-2116



2) DX取組みの着実な進展～プラットフォーム事業の拡大～

当社は、他社との差別化を目的としてきた高効率なオペレーションの仕組みを、他社に提供するプラットフォーム事業を進めています。遠隔自動検針等を可能とするガスマーティー「スペース萤」では、当社ガス顧客100万件以上に導入し、2021年から他社への提供を開始。22/3末現在、全国の事業者15社向けに7万台超を設置しています。全国から問い合わせを多数頂戴し、23/3期は設置台数を15万台に増やす計画です。21/3月に稼働したハブ充填基地「夢の絆・川崎」を起点とし、ガス使用量、ポンベや配送車両の位置情報等のデータを繋げた高効率な仕組み(ニチガス・ツイン)を実現、充填・配送・保安・検針等の機能を「LPG託送」として他社と共同で利用します。LPG託送は一般的なケースと比較し、コストとCO2の半減が見込まれます。他社が本仕組みを利用することを通じ、業界全体のCO2削減にも貢献していきます。当社はプラットフォーム事業の収益を拡大し、24/3期までにセグメント規模まで本事業を成長させる計画です。

3) DXを推進する企業文化の形成、環境の整備

変革に挑戦しないことがリスクと強く認識し、過去の成功体験を繰り返さず、失敗を恐れず挑戦し続ける風土があります。これが成長の原動力であり、最も価値のある無形資産です。当社は、優秀な人材の処遇では、高度人材向け報酬体系や副業制度を整備しています。既存の枠組みに捉われず事業を再定義しながらDXを推進していくために、ビジネスサイドの人材と、エンジニア、UI・UXデザイナーとの協業を深化させていきます。外部との協業では、「どの個人」と組むかを重視し、必要な先端技術を有するパートナーと共に創を進めています。

以上